

市之倉だより

多治見市立市之倉小学校 学校だより 令和2年特別号
 507-0814 多治見市市之倉町10-381 TEL 0572-22-3702 FAX 0572-21-2113
 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

令和元年度後期 保護者アンケート 集計結果

数値は% A:大変よい B:よい C:もう少し D:よくない E:分からない

	A	B	C	D	E	肯定的回答	h31前期	h30後期	前期比	前年比
1 学校は教育目標「きびしく やさしく たくましく」や、その具現に向けての経営方針「個が輝く集団づくり」「学ぶことが楽しめる授業作り」を分かりやすく伝えていきますか。	29	117	33	2	30	80.7	84.0	81.3	-3.3	-0.6
2 学校は学校報やホームページ、懇談会を通じて教育の意図や子どもの様子を分かりやすく伝えたり、電話連絡等で家庭への連絡や意思疎通を積極的に進めたりしていますか。	72	107	28	2	2	85.6	84.2	84.7	1.4	1.0
3 学校は子どもについて連絡や相談したことについて、親切丁寧に対応し、相談しやすい雰囲気になっていますか。	77	93	31	6	3	82.1	88.5	88.5	-6.4	-6.4
4 学校は、それぞれの学級で学級目標を設定し、その達成に向けて願いをもたせて学級づくりをしています。学校は、一人一人を大切に学級づくりに取り組んでいると思いますか。	62	104	21	6	7	86.0	90.3	88.0	-4.3	-2.0
5 学校は、一人一人の子どもへの理解に努め、そのよさを伸ばすことを大切に指導をしています。学校は、子どもをよく理解して指導をしていますか。	57	103	27	6	15	82.9	86.5	89.4	-3.6	-6.5
6 学校は、各担任が学級通信や電話などで学校での児童の様子をできるだけ伝え、家庭と連携を密にするよう努めています。こうした連絡や子どもの話から学校の様子が分かりますか。	70	94	34	7	12	80.0	78.6	81.4	1.4	-1.4
7 学校は、いじめなどの問題行動に対して未然防止や早期発見・対応に努めています。お子さんは、生き生きと楽しく学校生活を送っていると思いますか。	56	107	27	11	8	81.1	79.8	88.7	1.3	-7.6
8 学校は、「学力の向上」に力を入れ、「聞き取る力」を高める授業改善や算数の少人数や個別指導に力を入れています。お子さんは、基礎学力が身に付いていると思いますか。	48	99	49	9	7	71.7	71.4	73.7	0.3	-2.0
9 学校は、係や委員会などで役割を果たすことや、行事等で仲間と協力してやり遂げることを大切に指導しています。お子さんは失敗を恐れなくて挑戦しようとしていると思いますか。	67	97	41	7	2	77.4	62.1	58.3	15.3	19.0
10 学校は、道徳の時間を中心に学級や異学年のチームでの活動を通して心の教育に取り組んでいます。お子さんは思いやりをもって違う立場や考えの仲間も理解しようとしていると思いますか。	58	109	27	5	11	83.9	73.4	72.8	10.5	11.1
11 学校は、縛りの会などで「よさみつけ」を行い、仲間のよさを認め合うことができるよう指導しています。お子さんは仲間が自分のよさを分かってくれていると感じていると思いますか。	45	101	30	8	25	79.3	79.5	82.8	-0.2	-3.4
12 学校は、一人一人の子どもとのコミュニケーションを大事にして、よさを認め、褒めることを大切にしています。お子さんは自分によいところがあると感じていると思いますか。	46	100	40	5	18	76.4	81.1	84.8	-4.7	-8.3
13 学校は、登下校時の指導や交通安全教室を行い、安全教育に努めています。お子さんは自分の身を守るために安全に気をつけて生活する力が付いていると思いますか。	58	93	50	6	3	72.9				
14 学校は、通知票の簡略化や長期休業中の閉庁日の設定などを行い、適切に「働き方改革」を進めていると思いますか。	44	112	18	2	27	88.6	80.8		7.8	
15 お子さんは、お家の方に言われなくても進んで家庭学習に取り組んだり、学習中はテレビをつけずに集中して取り組んだりしていますか。	47	61	66	32	1	52.4				
16 お家の方は、お子さんが家庭学習をするとき(したとき)、学習するときの様子や、学習した内容を確かめていますか。	53	89	57	10	2	67.9				
17 お家の方は、お子さんが次の日の学校の準備をするときに学習用具などの忘れ物がないようにお子さんに声かけや見届けをしていますか。	54	91	46	12	1	71.4				
18 お家の方は、お子さんのよいところや改善されたことを認めたり、励ましたりするようにしていますか。	54	113	38	3	0	80.3				
19 お子さんは、ご家庭でお風呂洗いやお風呂掃除など、決まったお手伝いをしていますか。	41	68	66	31	3	52.9				
20 学校で生き生きと活動するためには「早寝」「早起き」「朝ご飯」があります。お子さんの生活リズムはできていますか。	77	74	44	14	0	72.2				
21 お子さんは、自分のことでいじめなど悩み事があったときに家庭で相談していますか。	53	115	29	4	4	83.6				
22 お子さんは、家族や地域の方に自分から進んであいさつしていると思いますか。	43	100	58	5	8	69.4				

令和元年度前期 児童アンケート 集計結果

数値は% A:大変よい B:よい C:もう少し D:よくない

	A	B	C	D	肯定的回答	h31前期	h30後期	前期比	前年比
1 学校は楽しいですか。	112	81	13	9	89.8	92.0	95.0	-2.2	-5.2
2 勉強はわかりやすいですか。	105	94	14	2	92.6	95.0	93.0	-2.4	-0.4
3 勉強でわからないことを先生に聞きやすいですか。	89	86	27	11	82.2	88.0	88.0	-5.8	-5.8
4 授業で発表しますか。	88	70	40	16	73.8	76.0	82.0	-2.2	-8.2
5 授業で友だちの話をよく聞いて考えたり、仲間の良さに気がついたりしますか。	98	89	19	9	87.0	91.0	92.0	-4.0	-5.0
6 難しくてもいろいろなことをやってみますか。	105	65	34	11	79.1	87.0	88.0	-7.9	-8.9
7 みんなと違う意見もだいじだと思えますか。	114	69	27	4	85.5	90.0	89.0	-4.5	-3.5
8 みんなは自分をほめてくれますか。	101	76	30	8	82.3	83.0	86.0	-0.7	-3.7
9 自分にはよいところがありますか。	80	92	32	16	78.2	80.0	81.0	-1.8	-2.8
10 先生はいろいろ工夫して教えてくれますか。	149	49	7	2	95.7	94.0	97.0	1.7	-1.3
11 先生は困っているときによく話をきいてくれますか。	114	69	16	6	89.3	93.0	93.0	-3.7	-3.7
12 先生はあなたが勉強などでがんばったことをほめてくれますか。	124	73	12	5	92.1	95.0	95.0	-2.9	-2.9
13 先生には困ったことを話せますか。	91	70	32	15	77.4	83.0	84.0	-5.6	-6.6
14 担任の先生以外にも、よく話をきいてくれる先生はいますか。	106	70	25	12	82.6	85.0	86.0	-2.4	-3.4
15 登下校では、しっかりとやらんで安全にいますか。	90	86	28	10	82.2				
16 進んで友だちのや先生、地域の人にあいさつしていますか。	137	53	16	9	88.4				

後期の児童・保護者アンケートから

令和元年度後期「学校教育に関するアンケート」にご協力をいただきましてありがとうございました。遅くなりましたが、その結果を報告いたします。

今回、例年のアンケート項目の内容を少し見直しました。見直しのねらいは二つあります。一つ目は、それぞれの目指す姿に向けて、学校の取り組んでいる内容を具体的に示し、その取組内容を理解した上でお答えいただきたいということ。二つ目は、ご家庭での様子について、学習面や生活面を具体的に示し、家庭学習や生活習慣の全体的な傾向をつかみたいということです。今後も、こうした方向で経年の傾向をみていきたいと考えています。何卒、ご理解いただければ幸いです。自由記述にあったご意見やご要望についても、真摯に受け止め、来年度に向けて改善できる点については改善策を講じていきます。個別のご意見については、それぞれに回答をさせていただいております。

後期アンケートから分る全体的な傾向は以下の通りです。

＜保護者アンケートから＞

- アンケートに学校の取組を具体的に示すことで肯定的な比率が飛躍的に上がったものがあった。これらは目指す姿に向けての取組が理解されているといえる。
- 「働き方改革」の取組については、概ね受け入れられている。今後もねらいをきちんと説明し、子どもに軸足を置いた業務の適正化を行っていききたい。
- 我が子を認め励ましたり、悩み事の相談にのったりすることができている家庭の割合が8割を越えている。親子の良好なコミュニケーションがとれている家庭が多く、たいへんありがたいことである。
- 「一人一人を大切にする」「一人一人の理解」「一人一人とのコミュニケーション」といった項目の肯定的割合が前年や前期と比べて低かった。個に応じたきめ細かな指導の充実が来年度の大きな課題となる。
- 学校の指導や対応についての項目は、学級格差が大きかった。担任と保護者・児童との信頼関係がアンケート結果に大きく反映されている。どの教職員も信頼される指導ができるような学校体制や研修、職員指導が求められる。
- 家庭での学習の取り組み方や保護者の見届けについては他の項目と比較して肯定的な割合が低かった。学習内容の定着や主体的に学ぶ力を育むためにも家庭学習の見直しを学校と保護者が連携して進めていきたい。

＜児童アンケートから＞

- 「先生は工夫して教えてくれる」「授業が分かりやすい」という項目は肯定的な回答が90%を越えていた。学習面では、子どもの実態に則した授業が行われている。
- 通学班登校や地域や学校での挨拶については肯定的な回答が80%を越えている。しかし、保護者や児童の自由記述をみると挨拶が低調であったり、通学班がうまくいっていないという意見が多く、一概に良好とはいえない。
- 「分からないことを聞きやすい」「困ったことを話せる」といった項目が前期や前年と比べて低かった。今後、さらに子どもの目線に合わせ、子どもに寄り添う指導の充実が求められる。
- 「授業で発表しますか」という項目では全体に前期・前年比と比べて低く、児童を主体とした授業づくりを進めていく必要がある。

全体的に前期や前年度と比べて、肯定的な評価の割合が低くなった項目が多いという事実を職員全体で正対し、来年度取り組んでいきます。どうぞよろしく願います。